

2021 年度広報誌テーマ案について

検討事項：記事のテーマ案

■ みどりアップ Action 5号

農 テーマ案『農園付公園で始める野菜づくり』 ←みどり税 充当

- ・農園付公園は、土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を公園として市が買取るなどして、市民が農作業を楽しめる農園を公園に開設しているもの。
- ・区画貸しタイプの市民農園で、利用者が自由に栽培・収穫できる。公園管理者により、栽培指導やアドバイスを行う体制も整えられている。
- ・園内には協働農園もあり、区画利用者のみならず、地域住民向けに農と触れ合う体験の機会なども設けられている。

取組名：農とふれあう場づくり(様々な市民ニーズに合わせた農園の開設)

取材先案：泉区 岡津町ふれあい公園 (H29 年 4 月開園)

取材参加者：未定

誌面内容(案)

読者に起こしてもらおう Action !	新鮮で安心な野菜を自分の手で！ 野菜づくりをはじめよう
ターゲット	ファミリー層(子どもと一緒に農体験) 農体験初心者(簡単な家庭菜園はやったことがあるものの、市民農園を借りた農作業の経験はない人)
取材対象	区画利用者、公園管理者(栽培指導員)
内容	・初めての自分にもできる！野菜づくり ・農園付公園なら施設も充実、栽培指導も受けられる ・気軽に参加 OK！農園付公園での交流イベント

検討事項：記事のテーマ案

■ みどりアップ Action 6号

緑化 テーマ案『みどりアップ計画を契機とした緑化推進』 ←みどり税 充当

- ・みなとみらい 21 新港地区緑のまちづくり協議会が取り組んでいた「地域みどりのまちづくり事業（協定締結期間：H25～29 年度）をきっかけとした継続的な緑化推進活動を取材。
- ・1号～5号までは郊外部を取材・広報してきたため、都心部（みなとみらい地区）の取組を紹介する。
- ・取材先案はみなとみらい地区運河パーク・花時計の管理を行っている NPO 法人。当該地区で行っていた緑のまちづくり事業に参加したことをきっかけに、事業終了後も地域の企業や興味を持った人に呼びかけ、活動の輪を広げながら花時計の管理を継続している。
- ・活動に参加している人や団体に取材を行い、読者の地域緑化への関心を高め、地域でつながっていく緑化活動の展開について興味を持ってもらう。

取組名：地域緑のまちづくり事業（協定締結期間：H25～29 年度）

取材先案：運河パーク・花時計を管理している団体

取材参加者：未定

誌面内容(案)

読者に起こしてもらおう Action !	地域で輪を広げていく地域緑化への参加、活動の推進
ターゲット	地域・地区の緑化に関心のある方
取材対象	地域緑化を推進している団体 (活動参加者、団体)
内容	・取組内容 ・取組を始めたきっかけ ・緑化を継続している効果